

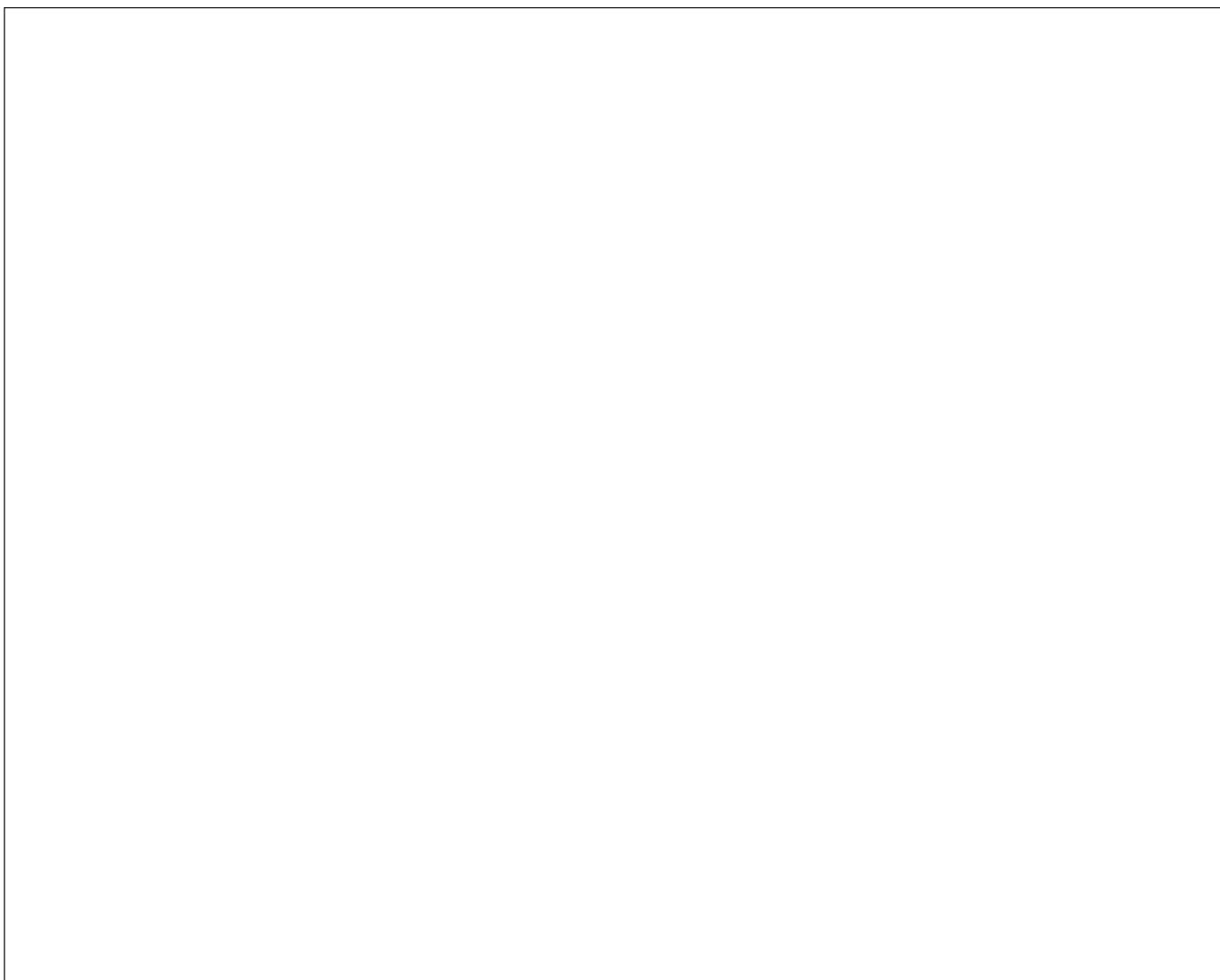
PRO

## 取扱説明書

### 機能拡張ソフトウェア

(AIプライバシーガードアプリケーション)

品番 WV-XAE201WUX



# もくじ

---

<b>はじめに</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>3</b>
	商品概要 .....	3
	特長 .....	3
	取扱説明書について .....	3
	必要なPCの環境 .....	3
	<b>ご使用の前にお読みください</b> .....	<b>4</b>
<hr/>		
<b>準備</b>	<b>運用までの流れ</b> .....	<b>5</b>
	<b>本製品をインストールする</b> .....	<b>5</b>
	<b>解除キー番号を取得、登録する</b> .....	<b>6</b>
<hr/>		
<b>設定</b>	<b>必要な設定を行う</b> .....	<b>8</b>
	設定メニュー .....	8

# はじめに

## 商品概要

機能拡張ソフトウェア WV-XAE201WUX（以下、本製品）は、AIネットワークカメラ（別売り、以下カメラ）をより便利にお使いいただくためのソフトウェアです。本製品をカメラにインストールし、解除キーを登録することで、顔や人物を検出してモザイクをかける「AIプライバシーガード機能」を使用することができます。

### 重要

- 本製品は、カメラ1台ごとに必要です。
- 本製品の対応機種、ソフトウェアバージョンなどの情報は、以下のURLを参照してください。  
[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information)

## 特長

- AI処理により、カメラ映像内の顔や人物を検出し、その領域にモザイク処理や塗り潰し処理を行うことで、個人を特定できないようにします。

## 取扱説明書について

本書は、本製品をカメラに登録する方法と運用を開始する前に必要な設定、および運用時の操作方法について説明しています。本製品はカメラに登録のうえご使用いただくことを前提としているため、ご使用の際には、お使いのカメラの取扱説明書も併せて必ずお読みください。

お使いのカメラの機種によっては、本書で使用しているカメラの画面と異なる場合があります。

本書では、ネットワークディスクレコーダーをレコーダー、パーソナルコンピューターをパソコンまたはPCと表記しています。

本書では次ページ以降、「モザイク処理」と「塗り潰し処理」を「モザイク処理」と表記しています。

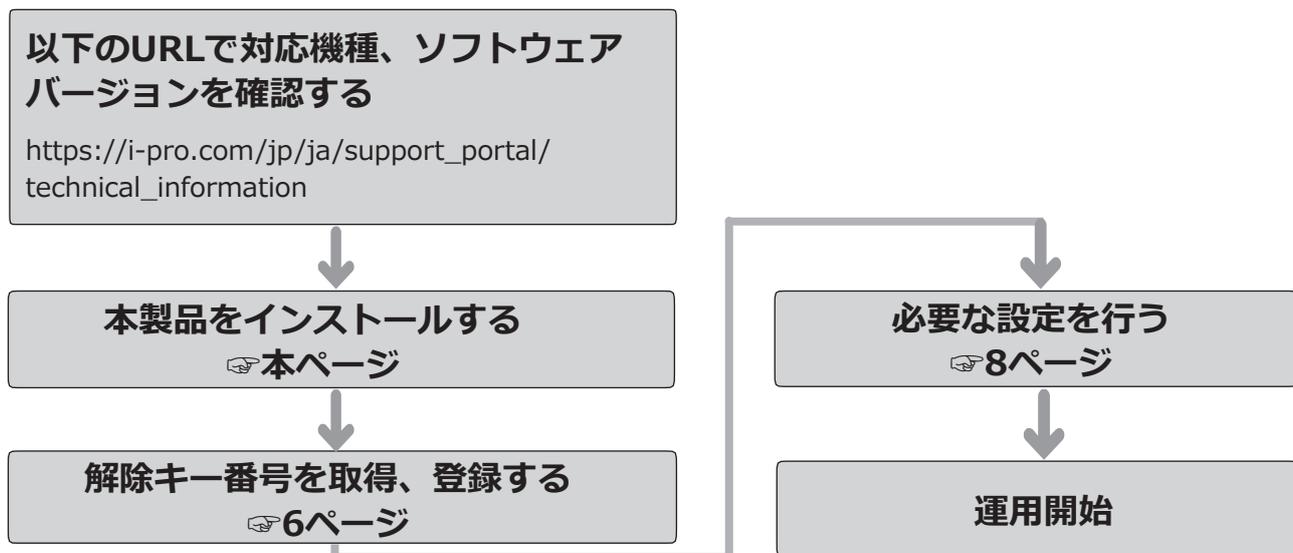
## 必要なPCの環境

設定などで使用するPCの環境、要件、サポートしているブラウザについては、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

# ご使用前にお読みください

- 以下のような場合、モザイク処理できないことがあります。
    - 対象の顔や人物にピントが合っていない。
    - 対象の顔や人物がぼれている。
    - 対象の顔や人物が白飛び、あるいは黒潰れしている。
    - 対象の顔や人物の一部しか映っていない。
    - 対象の顔や人物の向きが上向きでない。
    - カメラの「設定」メニュー > 「映像/音声」 > 「画質」で設定されたプライバシーゾーンに隠れて、対象の顔や人物が一部しか映っていない。
    - 対象の顔に、マスクやサングラスが装着されている。
    - 対象の顔や人物が、カメラに近すぎる。
    - 対象の顔や人物が小さすぎる。
  - 「AIプライバシーガード」設定画面の「ガード対象」で「人物」を選択した場合、顔が映っていないときはモザイク処理できないことがあります。
  - カメラに映っている人数が多すぎる場合（目安：100人以上）、全員にモザイク処理できないことがあります。
  - 足や腕など、人物の一部にモザイク処理できないことがあります。
  - 横たわっている人物や倒れている人物にモザイク処理できないことがあります。
  - 顔や人物が映っていない場所にもモザイク処理することがあります。
  - 人形やポスターなどにもモザイク処理することがあります。
  - 対象の顔や人物より大きい範囲にモザイク処理することがあります。
  - AIプライバシーガード機能が有効な場合、オートフォーカスを実行すると画像全体がモザイク処理されることがあります。
  - モザイク処理するストリームでは、他のストリームより配信映像が遅延することがあります。
  - AIプライバシーガード機能の各設定、あるいはその結果で被る不便、損害、被害に関して弊社は一切の責任を負わないものとします。
  - AIプライバシーガード機能は、盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した事故または損害に関して弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 
- 免責や個人情報の保護、商標および登録商標、著作権についてはお使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

# 運用までの流れ



## メモ

- 本製品がプリインストールされているカメラをお使いの場合は、「解除キー番号を取得、登録する」からお読みください。

## 本製品をインストールする

以下の手順で、本製品をダウンロードし、お使いのカメラにインストールします。

- (1) 下記の URL にアクセスし、「AI プライバシーガードアプリケーション」をダウンロードし、パソコンに保存します。

[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal)

### 重要

- 保存先のディレクトリ名に、スペース、全角文字は使用しないでください。

- (2) カメラの「設定」メニュー > 「機能拡張ソフトウェア」ページ > 「ソフトウェアの管理」タブを選択します。



### 重要

- カメラの「残ROM容量」「残RAM容量」を確認してください。容量が不足している場合は、インストール済みの別の機能拡張ソフトウェアをアンインストールしてください。アンインストール方法についてはカメラの取扱説明書操作・設定編をお読みください。

- (3) [参照...] ボタンをクリックしてダウンロードした「AIプライバシーガードアプリケーション」を指定します。

- (4) 「新しい拡張ソフトウェアをインストールする。」が選択されていることを確認し、[実行] ボタンをクリックします。ソフトウェアのインストールが開始されます。インストールが完了すると、拡張ソフトウェアの一覧および「ソフトウェア管理」画面に「AIプライバシーガード」が追加されます。(名称は一部省略される場合があります)

### 重要

- インストール中は、カメラの電源を切らないでください。
- インストール中は、インストールが終了するまで一切の操作を行わないでください。

# 解除キー番号を取得、登録する

本製品を使用するには、本製品の解除キー番号を取得し、お使いのカメラに登録する必要があります。

下記の手順に従って、解除キー番号を取得してください。

## <キー管理システムの登録 ID をお持ちでない方>

\* キー管理システムのサイトにアクセスして、登録 ID を取得してください。STEP1 からお読みください。

## <キー管理システムの登録 ID をすでにお持ちの方>

\* キー管理システムのサイトにアクセスし、取得済みの登録 ID を使って「解除キー番号発行」を行ってください。STEP2 からお読みください。

## メモ

- 本製品には、試用期間が設定されています。試用期間中は解除キー番号を登録しないで本製品をお使いいただけます。試用期間（90日）を過ぎてご使用になる場合は、解除キー番号の取得、登録を行ってください。

## STEP1 「ご販売店様登録」をします。

- (1) 下記のどちらかの URL にアクセスし、「ご販売店様登録」を選択します。
  - パソコン・スマートフォン用URL  
<https://kms.business.panasonic.net/ipkms/m-jp/>
  - パソコン専用URL  
<https://kms.business.panasonic.net/ipkms/pc/jp.htm>※パソコン専用 URL からアクセスしたときは、「新規登録を行う場合はこちらをクリック」をクリックします。
  - ※ 2023/4/3 ~ 以下の URL に変更になります。
  - パソコン・スマートフォン用URL  
<https://kms-business.i-pro.com/ipkms/m-jp/>
  - パソコン専用URL  
<https://kms-business.i-pro.com/ipkms/pc/jp.htm>

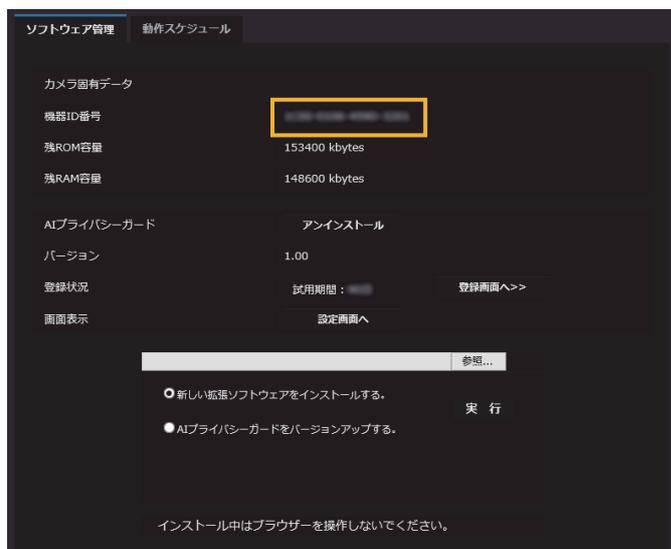
- (2) 画面の指示に従って、ご自身の情報を入力します。
- (3) 登録 ID とパスワードが発行されます。

## 重要

- 登録IDとパスワードは、大切に保管してください。次回以降、新たに登録IDを取得する必要はありません。発行された登録IDを使用してください。
- パスワードは、定期的に変更してください。パスワードの変更は、パソコン専用URLにログインし、「パスワード変更」から行ってください。

## STEP2 解除キー番号を取得します。

- (1) カメラの機器 ID 番号、起動 ID 番号および暗号 ID 番号を確認します。
  - 機器ID番号は、カメラの「設定」メニュー > 「機能拡張ソフトウェア」ページ > 「ソフトウェアの管理」タブの「機器ID番号」を参照してください。



- 起動ID番号および暗号ID番号は、本製品の起動情報案内カードに記載されています。

## メモ

機器 ID 番号は、カメラの外装箱にも記載されています。

# 解除キー番号を取得、登録する（つづき）

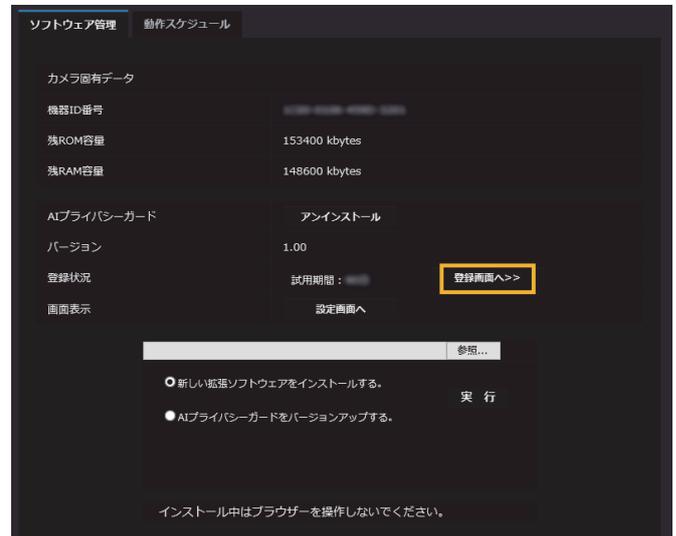
- (2) **STEP1** (1) のどちらかの URL にアクセスします。
- パソコン・スマートフォン用URLにアクセスした場合は、[解除キー番号発行] ボタンを選択します。「解除キー番号発行ログイン」画面に登録済みの登録IDとパスワードを入力してログインします。
  - パソコン専用URLからアクセスした場合は、直接「ログイン」画面が表示されます。登録済みの登録IDとパスワードを入力してログインします。
- (3) 画面の指示に従って、機器 ID 番号、起動 ID 番号および暗号 ID 番号を入力します。
- (4) 入力後、解除キー番号が発行されます。起動情報案内カードに記載し、大切に保管してください。

## 重要

- 機器ID番号とそのカメラに使用する起動ID番号、暗号ID番号の組み合わせを間違えないようにご注意ください（一度解除キー番号を発行した起動ID番号は、別の機器ID番号との組み合わせで解除キー番号を発行することはできません）。
- 別のカメラについて解除キー番号を発行する場合は、**STEP2**の (3) (4) を行ってください。
- 1台のカメラに複数の解除キー番号を登録する場合は、**STEP2**の (3) で複数の起動ID番号、暗号ID番号を入力することで、同時に解除キー番号を発行できます。

## STEP3 解除キー番号を登録します。

- (1) カメラの「設定」メニュー > 「機能拡張ソフトウェア」ページ > 「ソフトウェアの管理」タブを選択します。



- (2) [登録画面へ >>] ボタンをクリックして、「アプリケーション登録」画面を表示します。



- (3) 「解除キー番号」欄に、STEP2 で取得した解除キー番号をハイフン (-) 無しで入力し、[登録] ボタンをクリックします。解除キーの登録後、「AI プライバシーガード機能」が有効になります。

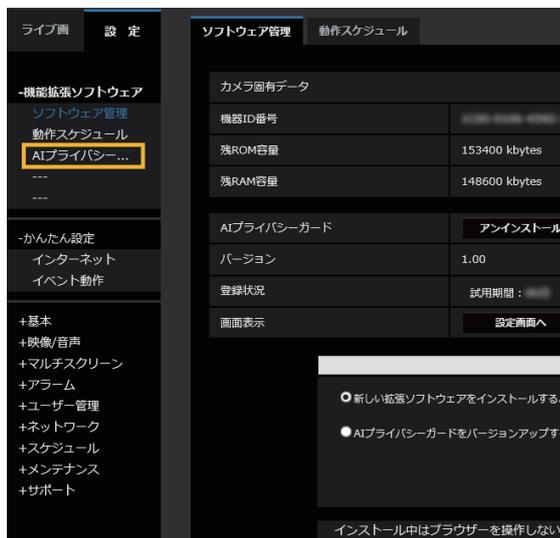
## メモ

解除キー番号は、アクセスレベルが「1. 管理者」のユーザーだけが登録できます。アクセスレベルの設定方法については、カメラの取扱説明書をお読みください。

# 必要な設定を行う

## 設定メニュー

AIプライバシーガード機能が有効になると、カメラの設定画面の「機能拡張ソフトウェア」に「AIプライバシー...」メニューが追加されます。



### 【AIプライバシーガード】

選択すると、「AIプライバシーガード設定」画面が表示されます。



### 【ガード対象】

AIによる検出結果を用いてモザイク処理を行う対象を選択します。

- Off : モザイク処理を行いません。
- 顔 : AIにより顔と判断された場合、その領域にモザイク処理を行います。
- 人物 : AIにより人物と判断された場合、その領域にモザイク処理を行います。

初期値 : Off

### 【対象ストリーム】

モザイク処理を行う対象ストリームを選択します。

- Off : どのストリームにもモザイク処理を行いません。
- ストリーム(1) : ストリーム(1)だけにモザイク処理を行います。
- ストリーム(2) : ストリーム(2)だけにモザイク処理を行います。
- ストリーム(3) : ストリーム(3)だけにモザイク処理を行います。
- ストリーム(4) : ストリーム(4)だけにモザイク処理を行います。

ストリーム(2)

&ストリーム(4) : ストリーム(2)とストリーム(4)だけにモザイク処理を行います。

初期値 : Off

### メモ

- 「ストリーム(2)&ストリーム(4)」を選択した場合、カメラの「ストリーム(1)」と「ストリーム(2)」が同じ解像度になります。また、「ストリーム(3)」と「ストリーム(4)」が同じ解像度になります。
- 弊社製レコーダーを使用してAIプライバシーガード機能を使用する場合は、「ストリーム(2)&ストリーム(4)」に設定してください。
- AIプライバシーガードは、JPEG配信に対応していません。

### 【描画方式】

描画の種類を選択します。

- モザイク : 検出した対象に、モザイク処理を行います。
- 塗り潰し : 検出した対象に、塗り潰しを行います。
- 初期値 : モザイク

### 【AIプライバシーガード拡張設定】

AIプライバシーガードの拡張設定を行います。以下のURLにアクセスして、設定画面を表示します。

[http://\[カメラのIPアドレス\]/admin/setup\\_mosaic\\_extend.html](http://[カメラのIPアドレス]/admin/setup_mosaic_extend.html)



### 【感度】

AIプライバシーガードの感度を選択します。高くするほどモザイクがかかりやすくなります。

低、中、高

初期設定 : 高

### 【モザイク強度】

モザイクの強度を選択します。強くするほど対象が見えづらくなります。

弱、中、強

初期設定 : 中

# 必要な設定を行う（つづき）

## [プライバシーガード禁止エリア設定]

AIプライバシーガードの禁止エリア設定を行います。  
以下のURLにアクセスして、設定画面を表示します。  
[http://\[カメラのIPアドレス\]/admin/setup\\_mosaic\\_mask.html](http://[カメラのIPアドレス]/admin/setup_mosaic_mask.html)



## [状態]

禁止エリアを有効にするかどうかを設定します。

有効：禁止エリアを有効にします。有効なエリアは実線で表示します。

無効：禁止エリアを無効にします。無効なエリアは破線で表示します。

初期設定：[エリア1] / [エリア2] / [エリア3] / [エリア4] / [エリア5] / [エリア6] / [エリア7] / [エリア8] 無効

## [削除]

選択した禁止エリアを消去します。

## [エリア]

マスキングゾーン（四角形）：禁止エリアを四角形で描画します。最大8か所の設定を描画線の色で区別しています。

描画線の色は、「1（白）」から順番に設定されます。

## 重要

- お使いのカメラのファームウェアによっては、AIプライバシーガード機能を使用すると、「みえますねっと」機能は使用できません。  
「みえますねっと」機能をご使用の際は、最新のカメラファームウェアをご使用ください。
- AIプライバシーガード機能を使用すると、JPEG(2)が使用できなくなります。
- AIプライバシーガード機能を使用すると、「最長露光時間」の「最大2/30 s」、「最大4/30 s」、「最大6/30 s」、「最大10/30 s」、「最大16/30 s」、「最大2/25 s」、「最大4/25 s」、「最大6/25 s」、「最大10/25 s」、「最大16/25 s」が設定できなくなります。また、「スマートコーディング」の「GOP制御」で「On (Framerate Control)」が使用できなくなります。
- AIプライバシーガード機能の対象ストリームの設定を変更すると、カメラの映像配信及びSDカードへの手動録画が一旦停止します。
- お使いのカメラによっては、AIプライバシーガード機能を使用すると、配信フレームレートが制限されます。詳細は以下のURLを参照してください。  
[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information) <管理番号：C0103>
- 「動作スケジュール」を設定することで、AIプライバシーガードを動作させる時間をスケジュールすることができます。動作スケジュール設定については、カメラ本体の取扱説明書 操作・設定編 を参照してください。

i-PRO製品の「お問い合わせ」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。  
[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal)

**i-PRO株式会社**

<https://www.i-pro.com/>

© i-PRO Co., Ltd. 2022

PGQP3548YA  
L0522-1013